

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

岐阜県不破郡垂井町1532-1

垂井町長 中川 満也



中期的な道路計画について、意見を下記のとおり申し上げます。

道路行政全般についての要望

- 地方にとって国道・県道など幹線道路は経済活動やそのでの生活をする上で欠かすことのできない基本的なものであるので、これらの整備拡充は最優先されるべきであると考えます。
- 道路整備のための財源として、道路特定財源を可能な限り充当されるものと考えます。

地域の現状と抱える課題

- 高速道路への連絡としてスマートインターチェンジ構想が進められていますが、名神高速道路養老サービスエリア内での構想を隣接自治体が打ち出されています。スマートインターチェンジを利用できる自治体として、早期実現を強く要望いたします。
- 西濃地区の経済発展は高速道路など幹線道路は必要不可欠です。東海環状自動車道（西回り）の早期完成を望みます。
併せて名古屋港を中心とした環状物流ルートとしての一般国道21号の整備拡充は沿線の既存企業活動をさらに活発化させるために必要と考えます。又、新規進出企業の誘発に有効と考えます。国道21号の2車線区間を早期に4車線化、又はバイパス化を望みます。
- 垂井町における国道21号は近畿・中部を結ぶ産業経済活動の重要路線でもあり、現状が2車線区間で慢性的に交通渋滞を引き起こしています。町の市街地を東西に走り生活の道路でもあります。このため交通渋滞による生活活動に支障きたしているので交差点改良を積極的に進める必要があります。

地域の目指すべき将来像

- 整備された高速道路・国道・県道などの幹線道路を中心に、活発な企業活動や地域活動があり、そこに生活する住民の安心安全が確保でき将来に夢が持てる温かみのある垂井町を目指しています。

道路政策の重点事項

○地域活力の向上

名古屋港からの物流ルートとして国道21号が活用されていますが、未改良区間であるので、コンテナ輸送など大型トラックが安全に通行できる幅員確保が急務である。4車線化、又はバイパス化によりさらなる企業活動の誘発を期待するものです。

○総合的な交通安全対策及び危機管理の強化

国道21号は垂井町の中央を東西に走り、近畿圏域中部圏域の経済活動の重要な役割を担っている中、近時代に予想されている東海・東南海地震等が発生した場合に交通遮断しないような災害に強い道路整備改良をする必要があります。

又大災害などが発生した場合、国・県・自治体・民間などの所有する機資材の緊急相互利用が可能なシステムづくりが必要であります。

○少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成

高齢者や身体しょうがい者に対応したやさしいまちづくりを推進するため、垂井駅にエレベーター設置するなどバリアフリー化事業を進める必要があります。

高齢者や身体しょうがい者が健常者と同等の生活ができるような環境が図れます。